

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年3月30日（月）～平成27年4月5日（日）〔第14週〕の感染症発生状況

第14週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.06人と前週（8.88人）から減少しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.24人と前週（3.52人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



これから気をつけたい感染症！！

例年、春先から夏までに注意が必要な感染症として、麻しん・風しん・水痘・ロタウイルス胃腸炎などが挙げられます。多くはウイルスが原因となり、感染経路は疾患によって異なります。感染を予防するためには、対象となる病気の感染経路をよく知った上で、対策を実施する必要があります。

感染経路の種類と代表的な疾患

➤ 空気感染

空気中を浮遊する、病原体を含む小さな粒子（5ミクロン以下の飛沫核）を吸い込むことによる感染

※麻しん・水痘 など



➤ 飛沫感染

咳・くしゃみ・会話等により飛散した病原体を含む大きな粒子（5ミクロンより大きい飛沫）が、他の人の鼻や口の粘膜に接触することによる感染

※インフルエンザ・咽頭結膜熱・風しん など

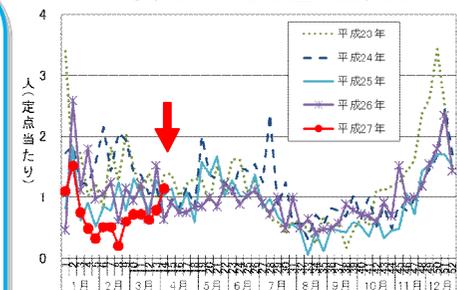


➤ 接触感染

皮膚と粘膜の直接的な接触、または中間に物や環境等を介する間接的な接触による感染

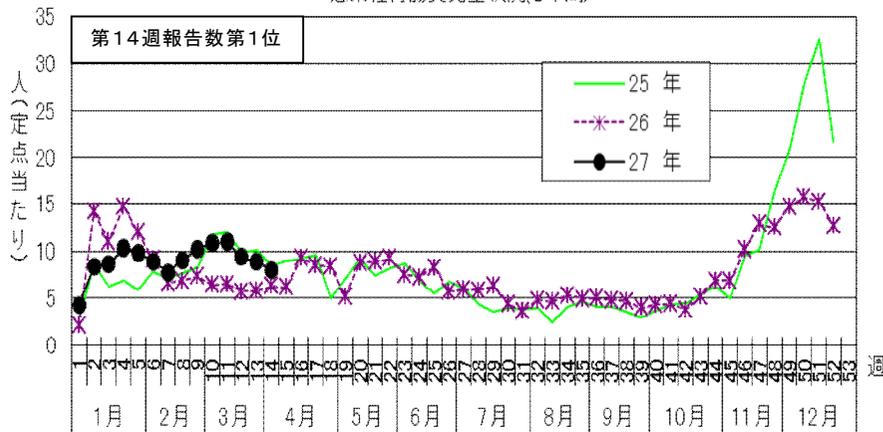
※ロタウイルス胃腸炎・ノロウイルス胃腸炎 など

川崎市における水痘発生状況



水痘患者の報告数は、年明け以降、例年より少ない状況でしたが、過去2週間は増加傾向ですので、ご注意ください。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)

